

農作物の生育状況（9月1日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1. 水稲

- ・穂いもちなど病害の発生は少なく、稲刈りは「青天の霹靂」で9月10日頃から始まる見込みです。

2. 畑作 … 大豆

- ・ほぼ平年並みの生育で、べと病や食葉性害虫も少ない状況です。

3. りんご等果樹

(1) りんご

- ・9月1日の果実肥大は、弘前市独狐では、「つがる」が平年比103%とやや大きく、「ふじ」が平年比99%とわずかに小さくなっています。
- ・黒星病の発生がみられる中で、園地により差がみられます。虫害の発生は問題ない状況です。また、日焼け果も散見されています。
- ・早生種の収穫、中生種の着色管理、樹上選果、草刈、支柱入れ等の作業が行われています。

(2) もも

- ・9月1日の果実肥大は、平川市新館の「川中島白桃」が平年比104%とやや大きくなっています。

(3) ぶどう

- ・弘前市石川の「スチューベン」は、着色日は平年より6日早い8月22日で、生育は良好です。

3. 野菜

(1) トマト

- ・日照不足と高温の影響で、弱小花や落花が若干みられ、前年比での出荷数量は88%となり、販売金額は103%と堅調に推移しています。病害虫は、うどんこ病、灰色かび病、アザミウマ類、オオタバコガの発生がみられています。

(2) 高冷地野菜

- ・夏にんじんの生育は平年より7日程度早い8月10日頃から収穫が始まりました。秋にんじんの生育はやや遅れていますが、だいこんの生育は順調となっています。
- ・スイートコーンの収穫は、平年より7日早い8月3日頃から始まりました。

4. 花き

- ・トルコギキョウ(9月出荷作型)や輪ギク(秋ギク)の生育は順調です。



相馬村農協 りんご現地講習会 8月19日



黒石分室 にんにく検討会 8月2日